

■ゴム・プラスチックの耐薬品性

ゴム、プラスチック材料は各種の油や薬品によっていろいろな影響を受け、電気的特性や機械的特性などを著しく低下させますので、一般指針として下表をご利用ください。

表 耐薬品性（内線規定より）

材料 薬品・油・ 溶剤など	塩化ビニル	ポリエチレン 架橋ポリエチレン	クロロブレン	エチレン プロピレンゴム
発煙硝酸	××	×	××	—
濃硝酸	×	××	××	—
10%硝酸	△	○	××	×
濃硫酸	×	△	××	×
10%硫酸	◎	◎	◎	○
濃塩酸	△	◎	××	—
10%塩酸	◎	◎	○	○
リン酸	◎	◎	◎	—
濃酢酸	△	○	○	—
3%酢酸	○	◎	×	○
濃アンモニア水	○	◎	△	—
10%アンモニア水	○	◎	△	○
40%苛性ソーダ	×	◎	○	—
10%苛性ソーダ	○	◎	△	△
塩素ガス	××	××	××	××
臭素	××	××	××	—
稀オゾン(0.03%以下)	◎	◎	○	◎
ベンゼン	○	△	×	×
ヘキサン	○	○	○	—
ナフサ	○	○	×	××
ガソリン	○	○	○	××
クロロホルム	△	○	××	××
四塩化炭素	◎	○	××	××
二硫化炭素	△	○	××	××
アセトン	△	◎	◎	◎
エチレングリコール	◎	◎	◎	◎
グリセリン	◎	◎	◎	◎

◎：ほとんど変化なし

○：わずかに影響される

△：ある程度おかされるので特別な場合を除き実用できない

×：かなりおかされるので実用不可

××：甚だしくおかされる

材料 薬品・油・ 溶剤など	塩化ビニル	ポリエチレン 架橋ポリエチレン	クロロプロレン	エチレン プロピレンゴム
エチルアルコール	○	◎	◎	△
フルフラール	○	◎	◎	◎
クレゾール	○	◎	○	○
クレオソート油	××	△	××	×
アニリン	◎	○	△	○
ASTMNo.1油	◎	○	○	△
ASTMNo.3油	◎	××	○	××
IRM902油	◎	◎	○	△
変圧器油	◎	×	○	××
シリコーン油	◎	◎	◎	◎
植物油	◎	◎	◎	—
DOP	○	◎	×	—
石油エーテル	××	◎	△	—
フレオンI2	◎	◎	×	××
重油	◎	○	××	××
トリクレン	○	○	×	××

◎： ほとんど変化なし

○： わずかに影響される

△： ある程度おかされるので特別な場合を除き実用できない

×： かなりおかされるので実用不可

××： 甚だしくおかされる